

問 今後の水道料金の見直しは

答 平成39年度までは据え置きと試算



田中榮一 議員

【水道事業の維持管理】

問 水道事業の現状は、法定耐用年数40年を超えた管路が30kmを超え、老朽化した水道施設は増加傾向。水道ビジョン策定時は、水道料金値上げが必須とされていたが。

答 策定した経営戦略は、平成39年度までの間は、水道料金を据え置きとして試算している。今後の水道料金は、計画期間中から継続的に料金体系の検討を行い、必要な場合は改定を行う。

問 経営計画における収支計画の試算数値は。

答 水道事業における最大の収入は水道料金。各年度の料金収入を2億6千万円台、老朽化施設更新のための国庫補助

【道路改修の今後の方針】

問 住民からの要望が多い道路改良補修修繕は。

答 要望箇所の緊急性や重要性を鑑み、「路面の損傷度合、交通量、児童生徒の通学路地域の合意形成は整っているか、工事実施の難易度」などを、項目ごとに基準を設けて工事を行っている。

問 舗装修繕についての考えは。

答 村道の管理延長は330km、その内舗装箇所の延長は170km。通常は月2回ほど職員による道路パトロールを行い、穴埋め等をしている。今年度から事後的な修繕対応から、計画的に修繕をすることで、係る費用の縮減と交通安全を確保するため「舗装の個別施設計画」を策定。

問 橋梁の修繕は。

答 昨年度までに管理する橋梁107橋の定期点検が完了し、「第2期橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、橋ごとに健全度を評価し、架橋の環境条件等総合的に判断し優先順位に基づき順次補修を実施。計画的に維持管理を行い、安全の確保と修繕費の縮減に取り組む。

問 道路改修の今後の計画は

答 舗装の個別施設計画を策定

問 脳ドック受診者に補助を

答 創設を検討する余地はある

【脳ドック補助】

問 「白馬村第2期保険事業実施計画」が目指す方向性として、脳血管疾病の減少を掲げている。脳ドック受診者に対する補助制度を設置する考えは。

答 ここ数年、本村の脳血管疾患の割合は高い水準で、将来的に重症化予防に期待されるのであれば、検討する余地はある。



村内で法定耐用年数40年を超えている水道管は30km
大川橋横にある管路は大丈夫か